

京 都 大 学

教 育 学 部 紀 要

XXVI

発達における可逆操作について
谷本富と樋口勘次郎の教育方法思想
事物についての相対判断的知識の発達
潜在的ラテラルティ及び認知様式の型の発達(4)
教科書教育と視聴覚教育
集団参加とライフ・スタイル
イギリスの図書館行政
橘孝三郎と愛郷会・愛郷塾の農民教育
「融和教育」の展開と「日本精神」
描画法における全体的印象について
「第三種郷学」(含翠堂)における公共化の可能性とその制約条件
ボルノーの解釈学的認識論の考察
W・フリットナー教育学に於ける人間学の独自性
明治33年小学校令と体育
原一政友会内閣の教育政策
教師は労働能力を生産するか？
カリキュラム改革運動における「構造」概念について
幼児における数の多少等判断の研究
言語表現と話者・聴者の視点
手の機能的左右非対称性に関する発達の検討
ヴィゴツキー以降の内言研究が示したものと今後の発達の研究における課題
児童画の諸問題：子どもは‘知っていること’をかくか、‘見たもの’をかくか？
記銘項目の諸要因によって決定される処理水準の検討
TAT 物語にみる男性像—女性像
共感現象についての一考察
「自閉症」児との相互反応
理論とモデルについて
教育学および関連諸科学の電算機による文献検索プログラムの開発について(1)

1980

京都大学教育学部紀要 XXVI

目 次

論 文：

発達における可逆操作について……………	田 中 昌 人	1
谷本富と樋口勘次郎の教育方法思想……………	稲 葉 宏 雄	15
——明治30年代の国家主義と個人主義——		
事物についての相対判断的知識の発達……………	梅本堯夫・川久保あつ子・服部素子	30
潜在的ラテラリティ及び認知様式の型の発達(4)……………	坂 野 登	52
教科書教育と視聴覚教育……………	百 名 盛 之	67
集団参加とライフ・スタイル……………	柴 野 昌 山	76
——青少年のグループ・サークル活動調査から——		
イギリスの図書館行政……………	森 耕 一	91
——1964年図書館法を中心に——		
橋孝三郎と愛郷会・愛郷塾の農民教育……………	福 井 直 秀	104
「融和教育」の展開と「日本精神」……………	梅 田 修	118
描画法における全体的印象について……………	青 木 健 次	129
「第三種郷学」(含翠堂)における公共化の可能性と その制約条件……………	高 野 良 一	141
——教育費の組織形態を通して——		
ボルノーの解釈学的認識論の考察……………	中 野 優 子	152
——認識の発展とその教育的意義について——		
W・フリットナー教育学に於ける人間学の独自性……………	徳 永 正 直	163
——その意義と問題点——		
明治33年小学校令と体育……………	福 西 信 幸	173
原一政友会内閣の教育政策……………	伊 藤 和 男	184
教師は労働能力を生産するか?……………	井 上 康	195
——教師聖職論批判のために——		
カリキュラム改革運動における「構造」概念について……………	田 中 耕 治	222
——ブルーナーとシュワブの場合——		
幼児における数の多少等判断の研究……………	川久保 あつ子	233
言語表現と話者・聴者の視点……………	麻 生 道 子	246
手の機能的左右非対称性に関する発達の検討……………	安 丸 廣	258
——文献展望——		
ヴィゴツキー以降の内言研究が示したものと今後の 発達の研究における課題……………	瓜 生 淑 子	270

児童画の諸問題：子どもは‘知っていること’をかくか， ‘見たもの’をかくか？……………	藤 本 浩 一	281
記銘項目の諸要因によって決定される処理水準の検討……………	芝 野 尚 子	291
TAT 物語にみる男性像—女性像……………	辻 井 景 子	303
共感現象についての一考察…………… ——その成立基盤をめぐって——	入 谷 好 樹	314
「自閉症」児との相互反応……………	倉 光 修	324
理論とモデルについて……………	実 川 幹 朗	334
教育学および関連諸科学の電算機による 文献検索プログラムの開発について(1)……………	百名 盛之・村尾 義和 村上 直之・宇阪満里子	344

昭和54年度修士論文

氏名	論文題目
伊藤 一也	教育と「場所」—その人間学的考察—
鳶野 克己	単独者を結ぶもの—S. Kierkegaard における隣人愛の問題
松久 玲子	メキシコにおけるインディオの国民文化への統合政策
矢野 智司	社会的人間と人間的社会—デュニー道徳教育論の基底と構造—
新井 秀明	米国公立学校財政制度改革論の意義と限界—セラノ判決（1971）の求める原理との関連で—
井上 智義	Reading における聴覚イメージの果たす役割—相対的な視覚優位vs聴覚優位の個人差に着目して—
小嶋 玲子	乳児期後期の manual asymmetry の特徴とその個体差に関する縦断的研究
京極 和子	イギリスにおける現職教育制度改革論義の展開
菅 千索	音楽的表現の認知に関する実験的研究—音楽に対する嗜好決定要因の個人差分析—
鈴木 敏昭	指示伝達行動における幼児の自己中心性
高見 茂	教育におけるアカウンタビリティ（Accountability）—二つの責任論の補完性を通ずる教育行政責任の確保—
武田 香苗	文処理における動詞の機能的・意味的特性と統語構造との役割について
松原 巨子	乳児における指示行動の成立過程について—三項関係の発達との関連で—
山下 一夫	老人の家族関係に関する心理学的研究—文章完成法とコンセンサス・ロールシャッハ法を通して—
金子 伸子	生後6カ月～10カ月児の物の操作の発達と人への関わりについて
川口 潤	漢字認知に於るその特性の効果
黒田 勇	イギリスの公共放送システムにおける放送と公衆の関係—「プレスの社会的責任理論」の展開による考察—

昭和 54 年度 卒業論文

氏 名	論 文 題 目
伊 藤 悦 子	東京市における特殊夜学校の設立
河 村 勝 之	「田中正造の教育観—少年期から栃木県会議員時代まで—」
高 林 和 明	教育の理想とする人間像における個人的見地と社会的見地
竹 下 典 行	P. H. Phenix におけるカリキュラム論の検討
谷 川 弘 治	小学生における自己概念の発達の検討
常 川 かおる	エドワード・セガンの「白痴」教育論に関する一考察
中 家 工	集団主義教育の訓育的意義についての検討—マカレンコの教育学にまなぶ
藤 田 まどか	片上伸の「文芸教育論」についての考察
藤 本 秀 子	3～4 か月児期の微笑の発達と保育の課題—微笑から発声への発達連関的検討—
松 本 浩 史	Bloom, B. S. による情意領域 (Affective Domain) に於ける教育目標の Taxonomy 研究について
山 根 俊 喜	—「問題解決学習」に於ける知識と態度の連関について—
横 瀬 速 人	フリードリヒ・シラーにおける理想的人間像の探究
渡 部 将 佳	都立移管期の朝鮮人学校についての考察
鈴 木 公二彦	「融和教育」における「自覚更生」の方法—京都市崇仁尋常高等小学校の「内部教育」の検討を通して—
板 垣 大 樹	VADS テストによる学習診断—小学 1 年生を用いて—
大 谷 知 子	話ことば獲得期店頭てんかん児の手一指操作の発達とその保育指導—事例研究をもとに—
今 公 弥	Locus of Control 尺度による学業成績の予測について
櫻 井 淳	アヴァンギャルドの原景—ロシア未来主義
笹 部 光 美	余暇と人間の「社会化」
夏 山 真 也	大学ラグビーチームについての小集団論的考察
三 好 伸 夫	「塾の社会学—学習塾経営者の意識調査—」
松 石 高 之	夜間中学における 2 年間～1 人 1 人との交わりの中で～
菊 間 康 之	Extreme Conditions における情報価値の問題について
柴 原 弘 志	児童期における家庭での親切の内面化—テレビ視聴を例にとって—
武 藤 清 吾	教員研修政策の展開とその問題点
玉 川 睦 生	REVIEW OF TEACHING ENGLISH AS A FOREIGN LANGUAGE FROM PSYCHOLINGUISTICS VIEW-POINT
青 木 映 里	幼児期におけるきょうだい関係と性役割の発達
天 野 和 生	親しさの度合いと人格像の関連に関する一考察—対人認知像の Pattern 分析による、

	親しさの説明への仮説的アプローチ
石川 嘉津子	Self-esteem と両親像
石丸 陽子	説得的コミュニケーションのメッセージ特性と意見変化
大島 剛	聴覚誘発電位の振幅の減少と Eysenck の向性の関係について
河合 俊雄	催眠における2つの次元—連想反応における視覚心像と音韻連合に着目して—
難波 範子	高校生における性役割認知—共学・別学について
三上 明道	青年期、変革と統合の時—「青年度」を測るものさしを試行錯誤ながら—
安川 収	方向の変化が文字認知に及ぼす効果について
藤元 直服	ユングの個性化の過程に見られる仏教概念について
大森 芳郎	Labelling theory に関する一考察
尾台 利彦	高等学校における学区制の目的の検討—新制高等学校発足期に注目して—
笠井 正司	テレビと子ども—テレビが子どもに与える悪影響を考える—
君和田 容子	「戦後教育改革期における教科書検定制度の検討」
倉田 伸治	放送利用社会教育に関する一考察
佐竹 陽子	政策成立過程に関する考察
田口 利明	住民主体の地方自治確立と住民の自治意識形成
谷川 至孝	校長の性格と職務に関する一考察—教育内の事業に関する学校教育法第28条3項の解釈を中心として
西之原 潔	学校運営における主任のあり方
藤田 健史	法の社会的形成—精神衛生法第12次改正の事例研究—
藤原 道子	戦後日本「障害」児教育行政制度政策への一試論—養護学校義務制化と統合教育思想の位置付けを求めて—
藤本 千鶴	高等教育機会の拡大におけるコミュニティ・カレッジの役割とその問題点
松井 茂	校内での児童・生徒間事故の責任—判例にみる親権者と教師の「過失」
山口 尚彦	民間社会教育事業についての考察—朝日カルチャーセンターを中心に—
沢田 芳郎	組織における知識・情報の位置づけ—組織的意思決定論にもとづく考察—
石川 博史	教育的雰囲気についての一考察—主にボルノーの教育的雰囲気を中心として—

編 集 後 記

昭和54年度『京都大学教育学部紀要』第26号は、各大学、研究機関への送付が大幅におくれ、また207頁から221頁まで欠落したまま製本するという不体裁なものになりましたことにつき、教育学部編集委員会としておわび申し上げるとともに、その理由を簡単に説明し、各位の御了解をえたいと思います。

本紀要は今年三月末日に完成し、すでに執筆者、教育学部教官、非常勤講師の先生方には配布も終り、各大学、研究機関に発送するばかりになっていました。ところが、この時点になって、本紀要執筆者の一人高橋和子（執筆当時教育学博士後期課程に在籍）の論文に掲載された図表や統計などが、執筆者の研究に基づくものではなく、聖ヨゼフ整肢園家森百合子先生の未発表資料を、執筆者が先生の御意志を確認することなく、御了承をえたものと速断して使用した資料であるという事実が判明いたしました。

この事実を知った編集委員会は、事態の重大さを考え、このことによって家森先生が蒙られる学者としての損害を最少限にとどめる方法を講じなければならないと判断し、教育学部教授会の議を経て、すでに配布した紀要の回収、全紀要から高橋論文の抹消、それにとりあう目次、その他の刷りかえなど再編集の処置を取りました。

このような理由により、再発行がおくれ、執筆者はじめ送付先の各機関に御迷惑をおかけすることになりました。事情御了承のうえ御寛恕賜わりたいと存じます。なお、こうした編集委員会の意向を理解され、心よく回収に応じて下さった方々に対し、深く感謝いたします。

9 月 1 日

京都大学教育学部

紀 要 編 集 委 員 会

編集委員	本 山 幸 彦	稲 葉 宏 雄	梅 本 堯 夫
	森 口 兼 二	高 木 英 明	
編 集 員	福 井 直 秀	梅 田 修	竹 田 真 理 子
	青 木 健 次	村 上 直 之	田 中 耕 二 郎

昭和55年3月24日 印刷

昭和55年3月31日 発行

著者並
発行人

京 都 大 学 教 育 学 部

代 表 者 大 村 茂

印 刷 所

明 文 舎 印 刷 株 式 会 社

京 都 市 南 区 吉 祥 院 池 ノ 内 町 10

発 行 所

京 都 大 学 教 育 学 部

京 都 市 左 京 区 吉 田 本 町

Kyoto University Research Studies in Education

XXVI

Contents

On the Concept of "Reversible Operation" in Human Development.....	TANAKA, Masato
A Study of Educational Method in Tomeri Tanimoto and Kanjiro Higuchi —Nationalism and Individualism in the Meiji 30's—	INABA, Hiroo
Development of Knowledge on Environmental Objects Examined by Serial Arrangement and Paired-Comparison Method	UMEMOTO, Takao, KAWAKUBO, Atsuko, & HATTORI, Motoko
Development of Latent Laterality and Cognitive Mode	SAKANO, Noboru
On the Relationships between Textbook Centered Education and Audio-Visual Education.....	MOMONA, Moriyuki
Group Participation and Life Style —From the Social Survey of Group and Circle Activities among Young People—.....	SHIBANO, Shōzan
Public Library Legislation in England and Wales	MORI, Kōichi
The Education of Farmers in Tachibana Kōzaburō and the Aikyōkai-Aikyōjuku	FUKUI, Naohide
On the Study of "Dōwa Education" in Prewar Japan	UMEDA, Osamu
On the "Global Impression" in Projective Drawings	AOKI, Kenji
The Possibilities of Public Systematization of "The Third Type Go-Gaku" (Gansuido), and its Historical Limitations	TAKANO, Ryōichi
Erwägungen zur hermeneutischen Erkenntnislehre Bollnows —über die Entwicklung von Erkenntnis und ihre pädagogische Bedeutung—	NAKANO, Yūko
Die anthropologische Relevanz der Wilhelm Flitners Pädagogik	TOKUNAGA, Masanao
Physical Education in the 1900 Revision of the Imperial Ordinance on Elementary Schools	FUKUNISHI, Nobuyuki
The Educational Policy of the Hara-Seiyukai Cabinet	ITO, Kazuo
Is a Teacher Really Produce of Labor Power?	INOUE, Yasushi
On the Concept of "Structure" in the Curriculum Reform Movement —The Case of J. S. Bruner and J. J. Schwab—	TANAKA, Koji
A Study of Judgments of Equality and Inequality in Children	KAWAKUBO, Atsuko
Speaker/hearer's Perspective in Utterance.....	ASAO, Michiko
The Development of Hand Asymmetry—A Review of Research Trends—	YASUMARU, Hiro
Problems in Inner Speech Research and Contributions for the Future Developmental Approach	URIU, Yoshiko
Problems in Children's Drawings; Do Children Draw 'What They Know' or 'What They See'?	FUJIMOTO, Kōichi
A Test of the Levels of Processing as Determined by Several Factors in Memory Items.....	SHIBANO, Naoko
Male and Female in TAT Fantasy.....	TSUJII, Keiko
Some Considerations on Empathy —The Fundamental Mechanism of Its Formation—	IRITANI, Yoshiki
Interaction with 'Autistic' Children	KURAMITSU, Osamu
<i>Περὶ τῆς Θεωρίας καὶ τοῦ Παραδείγματος</i>	ZITUKAWA, Mikirō
A Document Retrieval System for Educational Studies and Related Sciences	MOMONA, Moriyuki MURAO, Yoshikazu MURAKAMI, Naoyuki OSAKA, Mariko

The Faculty of Education, Kyoto University

March, 1980